

平成29年度の年間の活動

1. 定常活動

1) 姉小路界隈を考える会月例会議（年12回開催）

毎月第3金曜日19時から月例会議を開催しています。参加予定者には事前に協議事項を示した文書を配布します。会議は公開制とし、会員、町内会長、学識経験者、ボランティア、京都市、大学生等が参加し一般参加も自由としています。そのため、地域住民、関心のある大学生、地域内のゲストハウスのスタッフ等がテーマ等に合わせて、入れ替わり参加しています。会議での検討結果は月刊「姉小路まちづくり通信」を通じて周知しています。

まちづくり通信は、地域内10箇所に掲示されるとともに、1700部印刷し、活動範囲に配布しています。

2) 姉小路界隈まちづくり協議会への活動支援

2015年3月に京都市市街地景観整備条例に基づく地域景観づくり協議会として活動を開始した「姉小路界隈まちづくり協議会」の支援を行っています。具体的には、協議会の事務局全般を担当し、地域住民への地域景観づくり協議会の活動、意見交換会の開催、結果等の周知、建築主や事業者からの意見交換会の申請窓口、意見交換会の運営等を行っています。

また、地域景観づくり協議会制度は、住民自らが主体性を持って、自分達の環境や景観を守り、育てていくためには大変優れた可能性があると思います。今後の制度の周知や運用には、地域と協力連携することが大切だと思っています。市内で10地域が制度を導入しており、それぞれの地域での独自の運用等工夫をしています。これらの経験を共有することにより、同制度の活用が広がるのではないかと考えています。これらの地域が集まり、京都地域景観まちづくりネットワークを設立し、隔月に意見交換を行っています。

3) 姉小路行灯会開催

京都では夏の終わりの風物詩として地蔵盆の慣わしがあります。姉小路界隈では、地蔵盆の前夜祭としての姉小路通（烏丸通～寺町通り）までの間に600基の行灯を並べる姉小路行灯会を毎年開催しています。このときは、道路を一部車両通行止めにして、地元中学生、幼稚園児、ご近所タレントが出演するまちかどコンサートを開催します。今年度で21年目になりました。



4) まちなかを歩く日への参加

「安心して歩ける安全でひとに優しいまち」、「歩いて楽しい回遊と交流のまち」、

「豊かな文化と活発な産業を育むまち」をつくることを目標にして、地域住民、地元自治連合会、地元まちづくり団体、事業者等で構成された「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」が主催する「京まちなかを歩く日」に参加しています。また、地区内のギャラリーでは、立命館大学の協力による交通調査に関する報告を行いました。また、夜は、夏の姉小路行灯会と同様に行灯を点灯させました。

5) 活動周知のための活動

(1) インターネットホームページの運営

当会の活動は、常にインターネットホームページ (<http://www.aneyakouji.jp/>) に掲載され、情報発信しています。そして、これまでの20年間の活動記録もアーカイブされており、活動を振り返ることができます。また、姉小路界隈まちづくり協議会の情報についても掲載されています。

(2) 年次報告書作成 (37号)

年度末には、活動内容をまとめた活動報告書を発行しています(300部発行)。この報告書にはその年次の事業報告、決算報告も掲載しており、28号(2009年3月31日発行)以降はweb-siteにもアップしています。報告書には、巻頭言、まちづくりへの言葉、事業計画、事業報告、決算報告のほか、設立以来の年表や、当該年度の新聞記事等を掲載しています。

2. 調査検討経費活用事業

1) 建物・色彩・土地利用に関するまちづくりデータベース作成(地域景観づくり協議会活動経費等)

20年を超える活動を通じて、界隈の建物の中には保存・活用、周囲の環境に配慮した新しい建物の建設など街並みが増えています。また、地域景観づくり協議会制度により、建物や屋外広告物に関連する行為、さらに営業を行う場合には、建築主や事業主は、事前に協議会と意見交換をすることが義務付けられています。

こういった日常的な変化や意見交換などの履歴を蓄積するためにまちづくりデータベースの作成に着手しています。特に今年度は、2012年度に京都造形芸術大学により作成された姉小路通の立面図(手書き)をデジタル化する作業を行いました。

2) 歩いて暮らせるまちづくりに向けた 社会実験・交通調査実施

姉小路通は、界隈で生活する人々の利用を主とする生活道路であるにも関わらず、地域と関係のない通過交通があり、さらに走行速度が法定速度を超過などの住民の安全を脅かされています。この状況を改善する方策を検討するために、昨年度に引き続き、立命館大学



学生の協力を得て、現状の自動車等の通行実態を把握する調査を行っています。その成果は、毎月の定例会やまちなかを歩く日に地区内ギャラリーなどで報告されています。

3) 姉小路界隈の多言語(2言語)マップ作成

最近では京都市内において、ゲストハウス(旅館業法に基づく簡易宿所)や民泊の増加と、それに伴う地域環境への影響が問題となっています。姉小路界隈にもゲストハウスがみられるようになってきました。そして、地域住民からは環境悪化等に関する不安を持つ声も聞かれるようになりました。一方で、ゲストハウス運営者や宿泊者が協議会の活動に参加してくれるようになりました。



定例会では、京都におけるゲストハウスの現状・実態に関する勉強会を随時開催しています。ゲストハウスの運営者、宿泊者に対して、地域の歴史、文化、環境、またまちづくりの取り組みに関する情報を伝え、地域に対する理解を得ることにより、良好な関係を築くことを目的として、昨年度はこれらの情報を提供するのための日本語、英語、中国語、韓国語のマップを作成し、宿泊施設等で配布を行うようになりました。今年度はさらにフランス語、タイ語版も作成しました。これらはインターネットを通じて公開され、閲覧をすることも可能です。

4) 新風館周辺修景計画と電線地中化計画案作成

姉小路界隈の西側の入り口となる旧京都電信電話局跡地の暫定利用として建設された商業施設「新風館」が、宿泊施設を含んだ商業施設に建て替えられることになりました。その際には、吉田鉄郎設計の建物の一部が保存、活用されることになりましたが、周辺環境への影響が想定されています。そこで、京都市が地域住民による将来の街並み景観についての検討をするために開発した景観シミュレーションシステムを活用して、事前評価を行っています。



また、2013年に京都市に要望していた姉小路通の電線地中化を促すために、上記施設の建設と接する姉小路通の区間を対象として、電線地中化案の作成を行いました。

5) 通り景観向上のための緑化・植栽

姉小路界隈では、これまでも「花と緑でもてなす姉小路界隈」をテーマとして、界隈の緑化活動を継続的に行ってきた。これらの活動をさらに進めるために、緑化・植栽活動を行っている。



受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. 地域景観づくり協議会運営支援事業

2015年3月から「姉小路界隈まちづくり協議会」が、京都市から「地域景観づくり協議会」として認定され、活動を行っています。姉小路界隈を考える会は、協議会の事務局機能を担っています。具体的には、条例で義務付けられた意見交換会の運用に関する業務、地域景観づくり協議会制度の周知活動を行っています。

事務局運営をするにあたり、調査検討経費を活用し、まちづくりデータベースの作成、景観シミュレーションシステムの活用を行っています。

2. 新たな地域課題への対応（前述）

- 1) 自動車通過交通問題への対応
- 2) ゲストハウス・民泊との共生に向けた対応

3. 博学社連携事業

姉小路界隈に接する京都文化博物館と姉小路通の南側にある京の三条まちづくり協議会と三者協働で事業を行っています。月一回の定例会を開催し、三者の特徴を生かした活動を行っています。今年度は従来の活動に加えて、近代建築をテーマにしたまち歩きやシンポジウムなどを行いました。

調査検討費の使途

- 地域景観づくり協議会活動支援（まちづくりデータベース作成）
- 歩いて暮らせるまちづくりに向けた社会実験・交通調査
- 姉小路界隈の多言語（2言語）マップ作成
- 新風館周辺修景計画と電線地中化計画案作成
- 通り景観向上のための緑化・植栽

近い将来取り組まなければならない課題

1. 地域景観づくり協議会の持続的運営

1) 地域景観づくり協議会の持続的運営方法の構築

姉小路界隈を考える会では、この平成27年3月に地域景観づくり協議会事務局を開設以来、この3年間で50件近くの意見交換を行いました。姉小路界隈では、条例で義務付けされている建築行為等に加えて、新規営業等も意見交換の対象にしていることから、多様な案件へ対応しています。この制度を運用することを通じて、近隣住民に案件に応じて丁寧に意見を聞くこと、また新しく来る方にむけてこれまでのまちづくり活動の蓄積を伝え、一緒になって良好な環境を創造していく意志を伝えることの重要性を感じています。

今後は、継続的な運営のための手続きの効率化、さらなる地域住民への活動の周知を高めるための取り組みをしていく必要があると感じています。そのために、南側に隣接する地域を活動区域とする「京の三条まちづくり協議会」や同制度を活用する市内10地区が連携する京都地域景観づくりネットワークとの連携をさらに強化していきたいと思えます。

2. 新たな地域課題への対応（前述）

1) ゲストハウス問題への対応

2) 通過交通問題への対応